

第34回

# 日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会

The Japanese Society of  
Diabetes and Pregnancy

## 糖尿病と妊娠

—この重要な概念を如何に次世代に伝えるか—

11 / 2018  
23 金・24 土

パシフィコ横浜 アネックスホール  
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会長

守屋 達美

北里大学健康管理センター センター長

### 海外招聘講演

「Diabetic nephropathy - the impact of antihypertensive treatment on pregnancy outcome」

Prof. Elizabeth R Mathiesen

(Centre for pregnant women with diabetes, Rigshospitalet, University of Copenhagen, Denmark.)

### 教育講演

1. 糖尿病合併妊娠における CSII 療法および SAP 療法の実際
2. 耐糖能異常合併妊娠の病態および GDM と糖尿病合併妊娠の相違点
3. 論文の書き方・臨床研究のルールについて
4. 明日からの糖代謝異常妊婦のケアを考えよう
5. DOHaD の視点からみた生活習慣病

### シンポジウム1 「腎障害を伴う糖尿病患者の妊娠」

1. 腎疾患と妊娠「腎疾患患者の妊娠 診療ガイドライン 2017」の要点について
2. 糖尿病性腎症の最新治療 ～よりよい妊娠・出産を目指して～
3. 腎症合併妊婦の管理 ～内科の立場から～
4. 腎症合併妊娠の管理-産科側より
5. 腎症合併妊娠母体より出生した児の臨床的特徴と課題

### シンポジウム2 「GDM のフォローアップ」

1. 2型糖尿病発症予防のための 妊娠糖尿病妊婦への非薬物的強化介入の試み
2. 国立病院機構前方視的多施設共同コホート研究「日本人妊娠糖尿病既往女性の産褥5年の糖尿病発症の実態と発症関連リスク因子および予防的因子の解明」
3. GDM の母親から生まれた子どものフォローアップ研究
4. 赤ちゃんが教えてくれた糖尿病予備群～母子事業を通じた保健所の取り組み～
5. 浜松市における妊娠糖尿病管理体制の樹立